

カエルの王子様

昔々、あるところに、かわいいお姫様がいました。お姫様はお城の近くの泉のほとりでマリ投げをするのが大好きです。ところがあるとき、投げた金色のマリが泉の中に入ってしまった。そのままずんでしまいました。

「ああ、どうしよう・・・」

ずんでいく金色のマリを見て、お姫様はシクシクと泣き出しました。

すると、

「泣いたりして、どうしたのですか？かわいいお姫様」

なんと、泉の中からみにくいカエルが呼びかけてきたのです。お姫様はちょっとビックリしましたが、カエルに言いました。

「大切な金のマリが、泉の中におちてしまったの」

「そうですか。では、私がひろってきてあげましょう。でもそのかわり、私をお友だちに、一緒にご飯を食べたり、一緒にベッドで寝かせてたりしてくれますか？」

「ええ、いいわよ」

お姫様はカエルと約束しました。でも、カエルと友だちになるのはいやなので、お姫様はカエルがマリをひろってきてくれたとたん、マリを持ってお城に走って帰りました。

次の日、お姫様がみんなと食事をしていると、だれかが戸をたたいて呼びました。

「お姫様、戸を開けてください」

「だれかしら？・・・！」

お姫様が戸を開けると、そこには、あのカエルがいたのです。

「姫や、何をそんなにこわがっているのだね？」

お父さんの王様に聞かれてお姫様は、外にマリをひろってくれたカエルがいて、そのカエルとお友だちになることを約束してしまったのだと話しました。すると、王様は言いました。

「姫や、あいてがカエルでも、約束したことはまもらなくてはいいけないよ」

「でも・・・」

「約束はまもりなさい」

そこでお姫様は、いやいやながらもカエルを部屋の中に入れて、一緒にご飯を食べて自分の部屋につれていきました。するとカエルは、一緒にベッドで寝たいと言い出したのです。

「まあ、カエルのくせに！」

お姫様はすっかりおこって、カエルをつまみあげると、カいっばいかべにたたきつけたのです。ところが、カエルは下におちたとたん、やさしい目をした王子様になったのです。カエルは、悪い魔女に魔法をかけられていた王子様だったのです。お姫様は王子様と仲良くなり、結婚してしあわせにくらしました。

単語

おうじさま
王子様 prince

むかしむかし
昔々 A long time ago...

ひめさま
姫様 princess

しろ
城 castle

いずみ
泉 spring, fountain

ほとり on the bank of, by the side of (e.g. a river, pond)

マリ ball

な
投げる to throw

ころがる to roll, to tumble

しずむ to sink

シクシク weeping, sobbing, crying

みにくい ugly, unattractive, unsightly

ビックリ(する) to be surprised, to be astonished

おちる to fall down, to drop

ひろう to pick up, to find, to gather

とたん just (now, at the moment, etc.)

と
戸 door, entrance

たたく to strike, to clap, to dust, to beat

こわがる to be afraid of, to fear

おうさま
王様 king

あいて 1. companion 2. other party 3. opponent

まもる 1. to protect, to guard 2. to keep (i.e. a promise)

いやいや reluctantly, by no means, unwillingly

つれる to lead, to take (a person)

すっかり all, completely, thoroughly

つまみあげる to take a pinch, to pick up in one's fingers

かべ wall

たたきつける to strike, to throw, to slap something onto

まじよ
魔女 witch

まほう
魔法 magic

けっこん
結婚(する) marriage

しあわせ happiness

くらす 1. to live, to get along 2. to spend (time)